

青森市野木遺跡のまとめ

- 竪穴住居跡について -

中 嶋 友 文

1 はじめに

青森市に所在する野木遺跡は、青森中核工業団地造成に伴い1995～98年に当センターによって調査（青森県：1998，1999，2000，青森市：2001）が実施され、古代の大規模な集落跡が検出された。なかでも9世紀後半～10世紀前半にかけての多数の竪穴住居跡とともに、膨大な遺物が出土したが、時間的余裕がないこともあって十分な考察ができないままに報告書が刊行された。そこで報告書で触れられなかった点について若干の再検討を加えることとし、今回は竪穴住居跡について分析するものである。



野 木 遺 跡（南から）

2 遺跡の概要（図1・2）

野木遺跡は、青森市南西部を流れる荒川支流の牛館川と合子沢川に挟まれた標高約40～90mの北から南にかけてなだらかな丘陵地に立地し、北端部を沖積地である平野部に接している。遺跡の範囲は南側に広がるものの、平安時代の竪穴住居跡約300軒、土坑、溝状遺構、畠跡（畝状遺構）、道跡（階段状遺構）、水場遺構、便所跡（周りに溝と柱穴をもつ土坑）、焼成遺構（土師器の焼成が行われた土坑）など、ほぼ一つの集落の主要部を調査したといえる。出土した遺物のほとんどが竪穴住居跡と水場遺構からのもので、平安時代の土師器と須恵器を中心に、石製品、鉄製品、鉄滓、羽口などのほか500点以上の木製品が段ボール箱で約800箱分出土している。

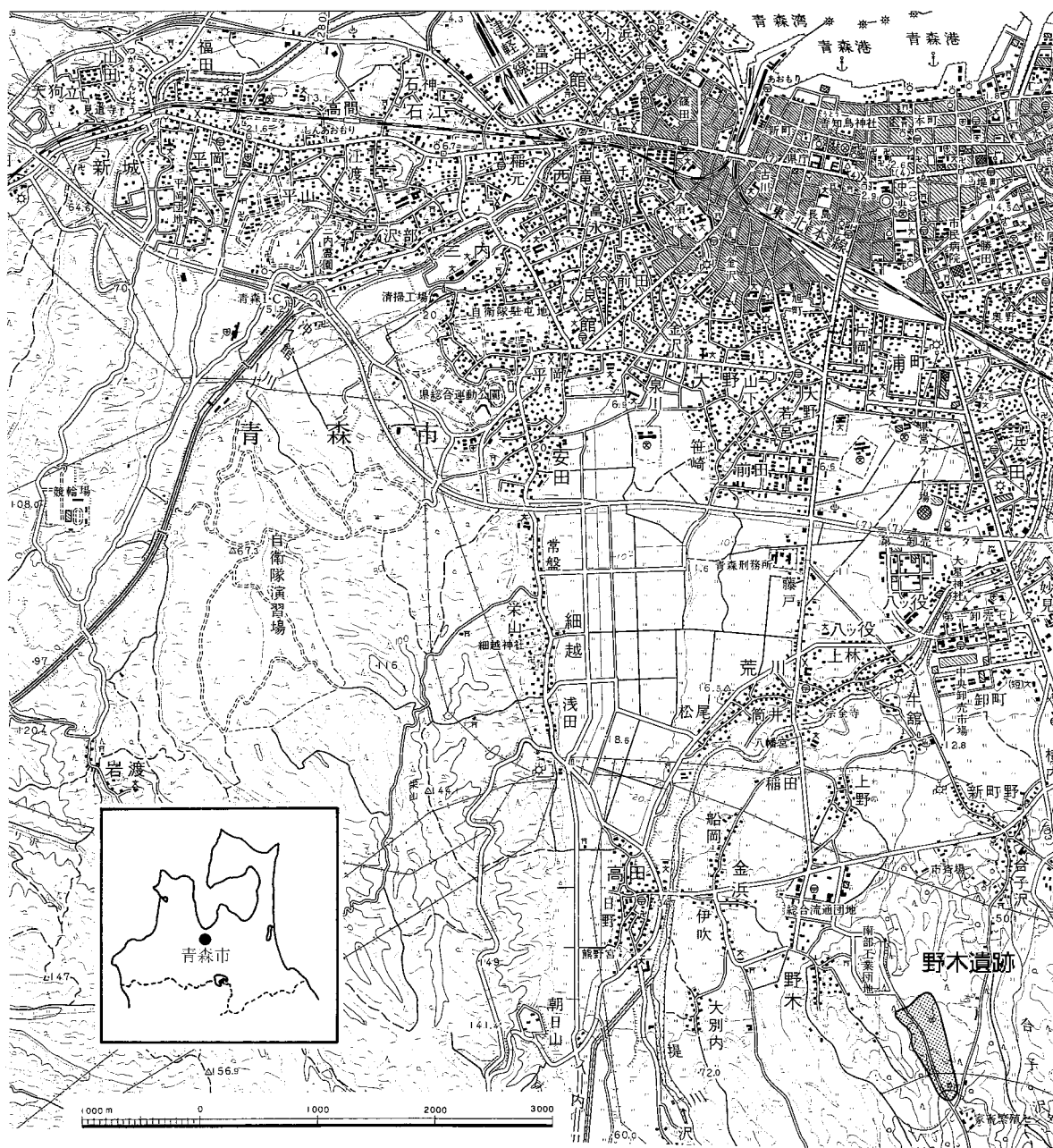


図1 遺跡位置図



図2 遺構配置図

3 竪穴住居跡について

1997年と1998年の調査(発掘調査面積約27,600m²)により検出された平安時代の竪穴住居跡は344軒^(注1)である。住居跡の平面形・規模、主軸方位、壁溝の有無、柱穴の配置、カマドの位置・煙道部の断面形、火山灰の堆積状況、付属施設について、それぞれまとめてみる。

[平面形・規模](図3・4)

平面形は住居跡の中心部での東西及び南北の長さを計測し、それらの数値差が10%以内を方形、10%以上を長方形とした。その結果、平面形が推定できる273軒中、197軒(72%)が方形として捉えられる。他の遺構との重複や攪乱・削平のほか傾斜地により斜面下方の立ち上がり捉えることができないものもあるが、ほぼ方形を基本とした一般的な平安時代の住居形態といえる。

規模は、東西あるいは南北の壁面の長さが最小1.8m(第323号住居跡)から最大9.8m(第702号住居跡)まで様々であるが、一辺3m前後と5～6mに集中する傾向がみられる。また、床面積を計測できた269軒の平均は19.9m²で、1辺約4.5m前後と推定され、床面積が10m²未満(28%)の小型住居跡が集落内の3割ほど存在すると同時に、50m²を超える大型住居跡(4%)もみられる。

[主軸方位](図5)

カマドの構築されている辺と直交する軸を主軸方位とした。その結果は、N-75°E～N-90°EとN-5°W～N-45°Wの方向に集中する。住居跡の大部分は平坦面を中心にして東斜面に構築されており、北東方向や西方向に軸をもつ住居跡がみられないことから、遺跡の地理的要因によって軸の方

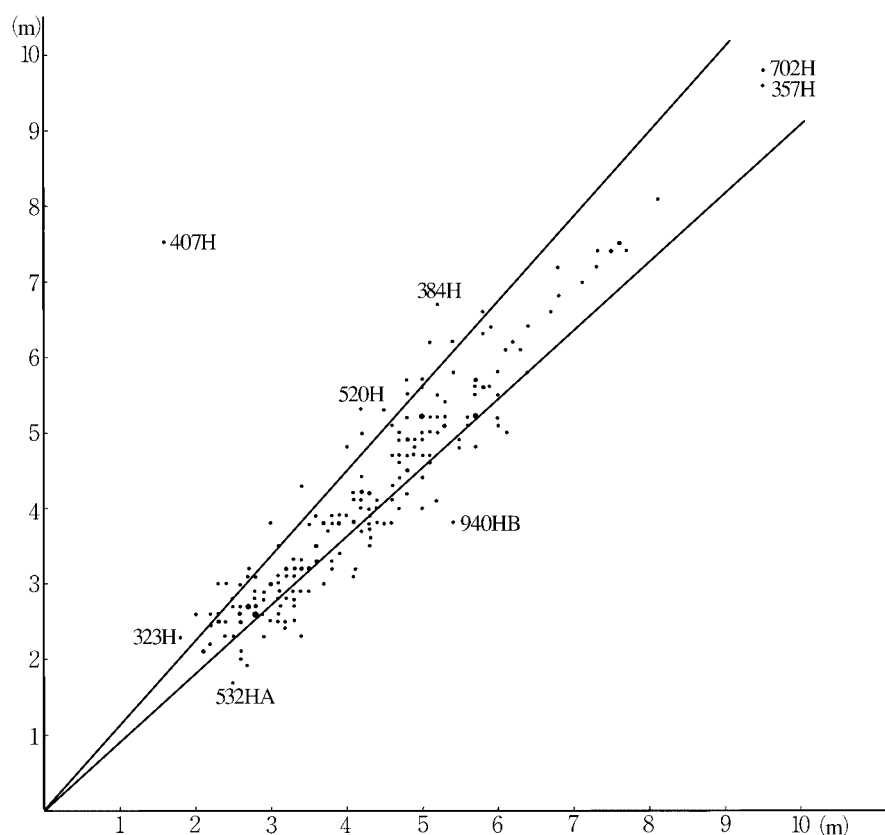


図3 住居跡の平面形

向が決定されていたことが考えられる。本遺跡の北側には、青森市教育委員会で調査した野木遺跡（青森市：2001）が隣接し、本遺跡と同様にカマドの主軸方向であるが東から南に集中する傾向がみられる。

[壁溝の有無]

壁溝が一巡あるいは部分的に確認できた住居跡は210軒で全体の64%である。斜面の上位方向に掘りこまれ、腰板を付設し、壁の崩落や土砂の流入などを防いでいたと考えられる。壁溝を持たない住居跡も何らかの防止策があったと思われるが、今回の調査等からは分らなかった。

[柱穴の配置] (図6)

住居跡内で検出されるピットの用途は柱穴、貯蔵穴などが考えられるが、その中には、用途が判断できないピットが多々みられる。残存状態が良好で柱痕を確認できるピットは極めて少ない。柱穴は

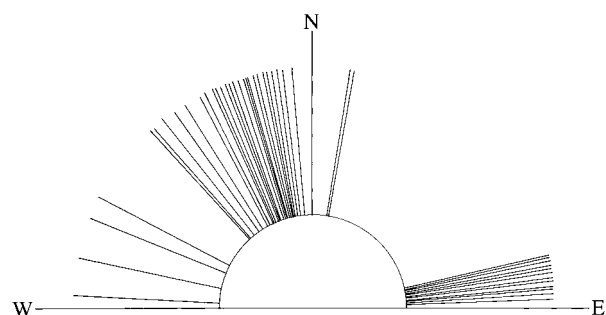


図5 主軸方位

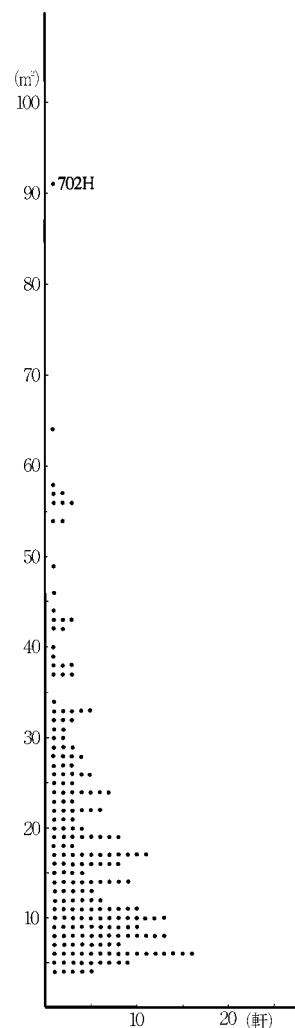


図4 住居跡の床面積

壁溝とともに竪穴住居の上屋を構築するために必要な施設の痕跡であり、その配置は様々である。

主柱穴の検出された83軒（26%）の住居跡について、その配置の状況からA～F類に分類してみた。^(注4)

A類 主柱穴のないもの

B類 主柱穴の4本が中央部に配置されるも

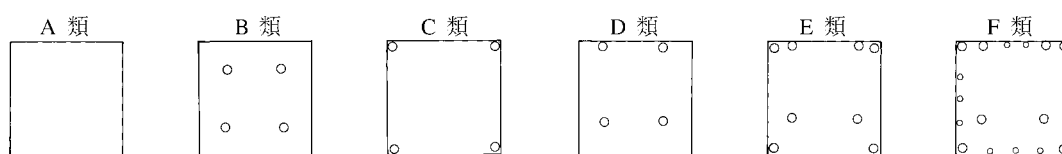


図6 住居跡の柱穴配置

の

C類 主柱穴の4本が四隅に配置されるもの（壁際に数本配置されるものも含める）

D類 4本の主柱穴のうち2本がカマド側の壁に接して配置されるもの

E類 4本の主柱穴のうち2本がカマド側の壁に接し、四隅にも柱穴が配置されるもの（C類 + D類）

F類 4本の主柱穴と四隅の柱穴のほかに各壁際にも数本、柱穴が配置されるもの

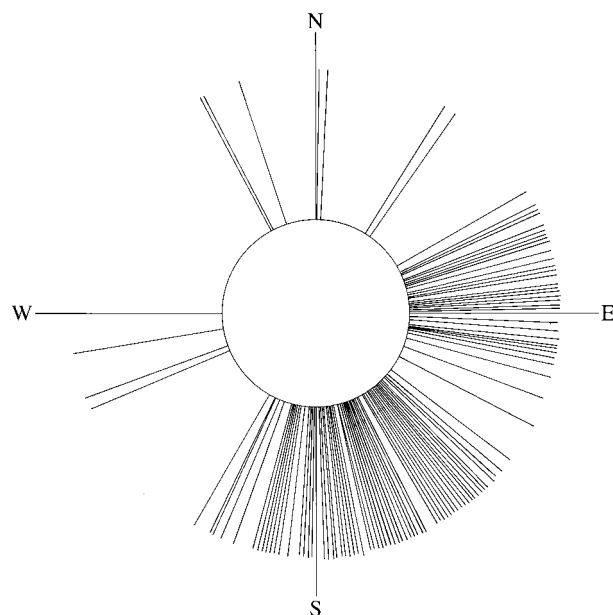


図7 カマド方位

これらの柱穴配置は重複等から時期的にみれば、B類 D類 F類の順に新しくなる。また、調査区中央部から唯一礎石をもつ竪穴住居跡（第363号住居跡）が検出された。礎石をもつ平安時代の竪穴住居跡は北海道・東北地方にはみられず、中部地方の長野県を中心にごく一部の地域に分布することから、本遺跡とそれらの地域との何らかの関連性があると思われる。

[カマドの位置・煙道部の断面形態] (図7・8)

カマドの位置については、確認できた289基のうち、南壁に構築されたものが最も多く全体の69%、次いで東壁が27%を占める。さらに、南壁に構築された185基のうち81%が西側に偏っており、これから住居跡を構築する上でカマド

の位置は、主軸方位と同じように地理的要因や住居跡の構造などから、何らかの制約があったと考えられる。一般的にカマドの構築される位置を時期的にみれば、東壁から南側、中央から西寄りに移行している。

また、住居の廃絶に伴うカマドの破壊行為が、同時期の他の遺跡同様に本遺跡でもみられるため、残存するカマド煙道部の断面形態によってA～E類に分類してみた。^(注5)

A 1類 煙道部が地山を割り貫き、火床面から水平に延び、煙出部でほぼ垂直に立ち上がるもの

2類 煙道上面を粘土で覆い、火床面から水平に延び、煙出部でほぼ垂直に立ち上がるもの

B類 煙道部が地山を割り貫き、煙出部底面にピットを持ち垂直に立ち上がるもの

C類 煙道部が長く緩やかに立ち上がるもの

D類 煙道部が短いためやや急に立ち上がるもの

住居跡やカマドの重複などから、B類 A類 C類 D類の順で時期が新しくなる傾向がみられる。しかし、すべてに当てはまるわけではなく当然ではあるが一部に例外も存在している。

また、カマドの芯材や支脚には、一般的な土師器の甕や礫のほか、焼成粘土板や口径の大きい羽口を用いているのも本遺跡におけるカマド構築上の特徴といえる。

[降下火山灰の堆積状況]

遺構内の堆積土から確認された降下火山灰は、灰白色の十和田 a 火山灰と黄褐色の白頭山 - 苫小牧火山灰の 2 種類で、竪穴住居跡とそれらを囲む柵列、柱穴と考えられるピット集中区域、畠跡（畝状遺構）便所遺構、水場遺構などから検出されている。両火山灰の降下時期は、10 世紀初頭～10 世紀前半と推定されている。^(注7)火山灰が確認された住居跡は 114 軒（うち 6 軒は不明火山灰）で、堆積状況を考えずに十和田 a 火山灰がのみが堆積している住居跡は 32 軒、白頭山 - 苫小牧火山灰のみは 63 軒、両方の火山灰が 13 軒検出されている。少なくともこの 108 軒は、火山灰降下以前に廃絶された住居跡と考えられる。

[付属施設]

住居跡に付随する施設として床面にロクロピットを持つ住居跡（第 319 号・第 324 号・第 347 号・第 478 号・第 486 号・第 702 号住居跡）が検出された。調査時は 3 軒であったが、その後ピットの断面等を改めて見直した結果、新たに 3 軒のピットがロクロピットの可能性が考えられ、それらの住居跡の周辺には、方形あるいはやや長方形の焼成遺構も検出されていることからロクロピットである可能性が高いと思われる。

また、住居跡に伴う溝跡をもつ住居跡は 11 軒検出され、いずれも斜面下方に向かって溝が掘られていることから、排水施設と思われる。張出し部を持っている住居跡は 7 軒（第 358 号 A・第 358 号 B・第 396 号 A・第 462 号・第 507 号 C・第 831 号 A・第 939 号住居跡）検出されたが、その用途等については不明である。

鍛冶施設が確認できた住居跡は第 422 号住居跡と第 708 号住居跡の 2 軒だけであるが、ほかに第 346 号住居跡と第 420 号住居跡を含めた区域は、周辺のピットの状況から上屋を持った鍛冶遺構があったと考えられる。それらの周辺の住居跡の覆土からは、多量の椀型鉄滓や羽口などが出土しており、廃絶された住居跡の窪みを捨て場所に用いていたと思われる。

4 まとめ

野木遺跡の約 300 軒の住居跡が同時期に存続していたのではなく、9 世紀後半～10 世紀前半の幾つかの時期に分かれて存在し、遺構配置図からみても自然発生的な集落というより、ある程度の計画性をもって他の集落から移住してきたと考えられる。

今後は集落の構成、住居跡と掘立柱建物跡との主軸方向の共通性、出土した遺物なども含めて、今再検討をしてみたいと思う。

また、青森市周辺には、平安時代の住居跡を多数検出した遺跡が存在し、本遺跡の近くには朝日山

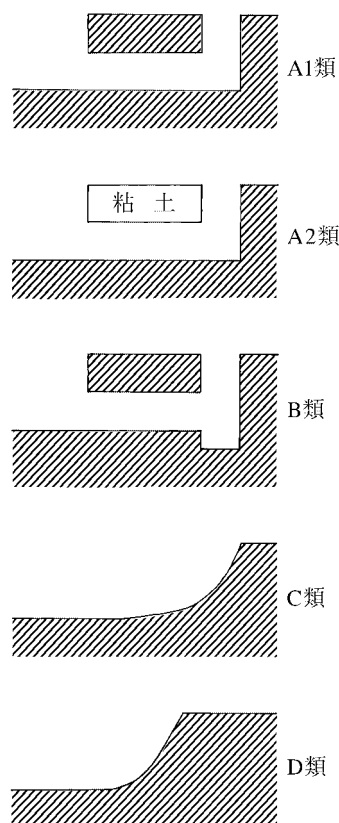


図 8 カマドの断面形態

遺跡、蛭沢遺跡、三内遺跡、近野遺跡などがあげられ、それらの集落との関連性を含めた比較検討も必要であると思っている。

筆者の力量不足から二年度にわたった報告書の住居跡一覧表を完成させたに終わってしまった感じがするが、あらためて他の人が調査した遺構をまとめる難しさを実感している。今後はこの反省を踏まえて、見やすい、使いやすい、分かりやすい報告書を作成することに努めたいと思っている。

最後に本稿をまとめるにあたり、成田誠治氏、福田友之氏、成田滋彦氏には種々ご教示いただき、この場を借りて感謝申し上げたい。

(注1)あくまでも報告書に記載されている軒数であって、調査担当者の解釈によって拡張や重複に違いがみられ、住居跡をA・Bに分類したもので単純に拡張の場合もあれば、重複のものも存在している。また、カマドを持たない竪穴遺構も含まれている。

(注2)プランメーターで3回計測した数値の平均値を表示している。

(注3)たとえば、夏のヤマセや冬の北西の季節風などを避けていたと考えられ、推測であるが夏と冬によって住居を住み替えていたのかも知れない。

(注4)柱穴が確認された83軒の住居跡以外に、主柱穴が住居の軸の中心線上に2本みられるものや中央に主柱穴の4本配置されるもので、そのうちの1本が検出されずに3本ものなどは分類に加えなかった。

(注5)地下式、半地下式も煙道底面のみ検出された場合、区別がつきにくいため、煙道部の断面形で分類を試みた。

(注6)内径が3～5cmの羽口が多く、より多くの空気を鞆から送風していたと考えられ、鉄生産遺構と関連があると思われる。

(注7)現時点での推定降下年代は十和田a火山灰が915年、白頭山- 苦小牧火山灰が923～938年とする。

『引用・参考文献』

青森県教育委員会 1998『新町野遺跡・野木遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第239集

青森県教育委員会 1999『野木遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第264集

青森県教育委員会 2000『野木遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第281集

青森市教育委員会 2001『野木遺跡』青森市埋蔵文化財調査報告書第54集

青森県埋蔵文化財調査センター 1997「青森県内の平安時代の火山灰について」『センター紀要第2号』

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pt (柱穴配置)	カ マ		ト	降下火山灰	備 考
								位	置			
301		3.2×3.3 方形	9.6	N-10°-E	15	一巡	0 A	S-7°-W	南壁西側	-	-	9 c 後半
302		2.7×2.7 方形	6	N-13°-W	30	-	0 A	S-9°-W	南壁西側	-	-	10 c 後半
303		6.2×6.1 方形	36.7	N-23°-W	45	一巡	10 D	S-23°-W	南壁西側	-	-	9 c 後半 支脚・腰(砂底)
304	304>305	6.3×6.8 方形	42.5	N-8°-W	25	一巡	31 F	S-9°-W	南壁西側	礎	B-Tm(1/3)	10 c 中葉
305	304>305>340	3.6×(3.6) 方形	13.1	N-7°-W	20	一巡	0 A	S-4°-W	南壁西側	-	D	10 c 前半 支脚・腰2個(砂底)
306		5.7×6.0 方形	32.4	N-13°-W	50	一巡	11 D	S-14°-W	南壁西側	-	D	9 c 中葉・後半 排水溝
307		3.1×3.2 方形	8.5	N-30°-W	65	一巡	2 A	S-30°-E	南壁西側	-	D	9 c 中葉
308		3.8×3.8 方形	12.7	N-15°-W	50	一巡	6 A	S-11°-E	南壁西側	-	D	9 c 後半
309		3.2×2.7 方形	5.7	N-18°-W	40	-	3 A	S-10°-E	南壁西側	-	C	9 c 中葉 排水溝
310		3.2×3.2 方形	9.2	N-10°-E	30	一巡	3 A	S-7°-W	南壁西側	礎	To-a(2/5)	9 c 後半 排水溝
311		(3.1)×3.3 方形	9	N-15°-W	30	部分	2 A	S-25°-E	南壁西側	-	不明	9 c 後半
312		4.3×(4.5) 方形	18.1	N-17°-W	30	ほぼ一巡	2 A	S-6°-E	南壁西側	-	B	To-a(2・3・6/9)
313A	313A>313B	2.3×3.4 長方形	6.7	N-79°-E	40	-	8 A	E-13°-N	東壁北側	-	不明	10 c 前半 支脚・腰(ヘラナデ)
313B	313A>313B	4.7×4.6 方形	20.5	N-87°-W	30	-	1 A	E-4°-N	東壁中央	-	B	B-Tm(4・5/5)
314		不明	-	N-19°-W	30	-	5 A	S-13°-E	南壁西側	-	不明	9 c 後半
315		3.5×3.6 方形	11	N-68°-W	60	-	3 A	E-20°-S	東壁南側	-	C	9 c 前半
316	竪穴遺構	2.1×2.6 長方形	3.4	N-15°-W	50	-	0 A	-	-	-	-	9 c 後半
317		2.6×2.8 方形	6	N-15°-W	45	部分	7 A	S-15°-E	南壁東側	-	C	To-a(1・2/6)
318	灰層											
319		2.4×3.2 長方形	6.8	N-9°-W	40	一巡	2 A	S-3°-E	南壁西側	-	B	9 c 中葉・後半 ログロピット(Pt1) 焼失窯置 支脚・腰(ヘラナデ)
320		4.1×4.6 長方形	16.8	N-88°-E	50	-	3 A	E-2°-S	東壁北側	礎	C	9 c 前半
321		2.9×2.9 方形	7.1	N-87°-E	45	-	9 A	E-3°-N	東壁南側	-	A 2	9 c 前半 支脚・腰(砂底)
322	322>341	4.9×4.8 方形	22.2	N-85°-E	45	一巡	14 D	不明	東壁北側	礎	不明	9 c 前半・中葉 排水溝
323		2.3×1.8 長方形	3.5	N-84°-E	60	-	2 A	E-8°-S	東壁中央	-	A 1	9 c 前半 支脚・坑(底部にヘラ記号「x」)
324		3.2×4.1 長方形	12.7	N-15°-W	70	部分	5 A	S-20°-E	南壁西側	礎	C	9 c 中葉 ログロピット(Pt 2)
325		2.3×2.5 方形	4.4	N-23°-W	35	部分	1 A	S-27°-E	南壁東側	-	A 2?	9 c 後半
326		3.8×4.3 長方形	15.5	N-26°-W	40	ほぼ一巡	8 A	S-24°-E	南壁西側	礎	A 2	9 c 後半 支脚・腰(胴部)
327		6.2×6.4 方形	37.2	N-38°-W	80	ほぼ一巡	20 E	S-38°-E	南壁西側	羽口(10)	D	10 c 前半(貼床下に火床面拡張?) 支脚・腰(ナデツケ)
328		3.0×3.0 方形	7.2	N-41°-W	50	-	11 A	S-41°-E	南壁東側	-	D	10 c 前半
329	329<335	3.9×3.9 方形	13.3	N-27°-W	40	一巡	1 A	S-20°-E	南壁西側	羽口(4)	D	9 c 中葉・後半 支脚・腰の上に腰(砂底)
330		3.2×3.3 方形	8.9	N-23°-W	55	-	1 A	S-23°-E	南壁西側	羽口(6)	D	10 c 前半 血蛭が出土 支脚・坑(内面ヘラミガキ)
331		4.8×5.7 長方形	25.4	N-19°-W	60	一巡	8 D	S-19°-E	南壁西側	-	D	9 c 後半 支脚2基(砂底・ナデツケ)
332	334>332>418 竪穴遺構	2.7×2.7 方形	6	N-7°-W	40	一巡	0 A	-	-	-	-	9 c 前半
333A	334>333>418	5.7×5.7 方形	31.4	N-80°-E	60	ほぼ一巡	9 C	E-10°-N	東壁北側	-	不明	9 c 前半・中葉 排水溝 支脚
333B	333A>333B	5.0×5.2 方形	25.6	N-80°-E	-	一巡	9 C	E-10°-N	東壁南側	-	不明	9 c 前半
334	334>332・333>418	4.3×4.5 方形	17.8	N-8°-W	70	一巡	7 C	S-11°-E	南壁西側	-	A 1	9 c 中葉・後半 支脚・腰?
335	335<329	4.4×5.0 長方形	17.9	N-20°-W	65	ほぼ一巡	6 A	S-19°-E	南壁西側	礎・羽口(2)	A 2	9 c 後半
336		5.9×5.9 方形	31.1	N-86°-E	65	ほぼ一巡	9 B	E-4°-N	東壁南側	-	C	9 c 前半・中葉 排水溝
カマド B		-	-	-	-	-	-	S-1°-W	南壁西側	-	C	9 c 前半?
337		3.0×3.7 長方形	10.5	N-62°-W	45	部分	12 C	E-27°-S	東壁南側	-	D	9 c 前半・中葉
338		2.6×2.9 方形	7.1	N-18°-W	40	一巡	0 A	S-19°-E	南壁西側	羽口(2)	A 2	9 c 後半 支脚・腰の上に坑が重なる
339		4.2×4.3 方形	16.3	N-19°-W	50	一巡	4 A	S-20°-E	南壁西側	-	D	9 c 中葉 排水溝
340	340<305	2.7×2.7 方形	7.1	N-5°-W	15	部分	2 A	S-4°-E	南壁中央	-	A 1	9 c 中葉・後半 支脚・坑
341	322>341>336	3.8×4.6 長方形	15.9	N-78°-E	90	部分	15 A	E-10°-N	東壁北側	-	D	9 c 中葉・後半 排水溝
342		(7.2)×7.6 方形	56.1	N-42°-W	65	-	33 F	火床面のみ	南壁西側	-	不明	10 c 後半・中葉
343		3.3×3.6 方形	10.7	N-87°-E	20	ほぼ一巡	5 A	E-3°-N	東壁南側	-	C	9 c 前半
344	344>345	3.4×3.9 長方形	11.9	N-84°-E	70	-	7 C	S-5°-E	南壁西側	-	D	10 c 前半
345	344>345	4.2×4.2 方形	16.7	N-85°-E	60	一巡	7 C	E-8°-N	東壁西側	礎	D	10 c 初頭 排水溝
346	竪穴遺構	1.6×1.7 方形	2.2	N-1°-W	30	-	1 A	-	-	-	-	9 c 初頭 ログロピット(Pt6)
347	347>424	7.0×7.1 方形	47.6	N-25°-W	65	-	30 F	S-21°-E	南壁西側	礎	C	10 c 初頭 ログロピット(Pt6)
カマド B		-	-	-	-	-	-	不明	南壁西側	-	C?	10 c 初頭以前
348		2.4×2.2 方形	4.5	N-78°-W	55	部分	4 A	E-12°-S	東壁南側	-	D	9 c 前半・中葉
349		4.6×5.1 方形	23.7	N-22°-W	55	-	10 A	不明	南壁西側	-	D	9 c 中葉・後半 内側に壁溝(拡張前の住居跡?)
350		2.8×2.5 方形	5.3	N-13°-W	55	-	3 A	S-14°-E	南壁西側	-	B	9 c 中葉・後半
351	竪穴遺構	2.7×2.6 方形	6	N-14°-W	25	-	1 A	-	-	-	-	不明

住居跡観察表 1

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pH (柱穴配置)	力マ		降下火山灰	備考
								位	置		
352		2.7×2.8 方形	5.2	N-0°-S	45	-	3 A	不明	南壁中央	不明	不明
353		6.6×6.7 方形	40.4	N-79°-E	65	ほぼ一巡	11 D	不明	東壁南側	不明	9 c 後半～10 c 前半 拡張あり(柱穴配置・C)
354		4.3×4.6 方形	18.7	N-78°-E	60	一巡	0 A	E-15°-N	東壁南側	A 1	9 c 中葉
355		不明	-	N-8°-W	15	部分	5 C	不明	南壁西側	不明	不明
356	357<356	2.7×3.1 方形	7.4	N-83°-E	60	部分	0 A	E-7°-N	東壁西側	D	10 c 前半以後
357	357<356-358	9.6×9.5 方形	90	N-23°-W	45	部分	11 A	-	-	-	9 c 後半～10 c 前半 B・T mの堆積は人為的
358 A	358 A>358 B>357	7.4×7.5 方形	56.5	N-80°-E	60	一巡	40 F	E-15°-N	東壁北側	A 2	10 c 前半 張出部(北壁1.5×2.1)
358 B	358 B>358 C	不明	-	N-20°-W	80	ほぼ一巡	40 F	S-15°-W	南壁西側	B	10 c 前半 張出部(南壁1.4×2.3)
358 C	358 B>358 C	3.6×4.3 長方形	-	N-20°-W	-	一巡	不明	-	-	-	不明
359		3.0×2.3 長方形	6.6	N-8°-W	55	-	1 A	S-9°-E	南壁中央	D	9 c 後半～10 c 前半
360	360>363	2.5×3.3 長方形	7.4	N-83°-E	55	-	4 A	E-13°-N	東壁北側	A 1	9 c 後半～10 c 前半
361		2.9×3.5 長方形	9.1	N-82°-E	60	部分	1 A	E-6°-N	東壁南側	D	9 c 後半～10 c 前半
362 A	362 A>362 B 壁穴遺構	2.3×2.9 長方形	8.2	N-12°-W	30	-	2 A	-	-	-	9 c 後半～10 c 前半 (貼床部分)
362 B	壁穴遺構	不明	-	N-7°-W	20	-	0 A	-	-	-	9 c 後半～10 c 前半
363	363>823	8.1×8.1 方形	63.3	N-65°-E	45	一巡	38 B?	E-24°-N	東壁南側	D	9 c 後半～10 c 初頭 礎石3 支脚・礫(笹葉痕) Pl24に須臾器埋設
364	壁穴遺構	2.6×2.3 方形	5.2	N-9°-E	80	-	4 A	-	-	-	9 c 後半
364	壁穴遺構	2.6×2.0 長方形	4.4	N-21°-W	40	-	0 A	-	-	-	不明
364	欠番										
364	367>455-456-459	7.5×7.6 方形	55.4	N-80°-E	75	一巡	37 E	E-3°-N	東壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半 支脚・礫(砂底)
368 A	368>456	5.5×5.7 方形	31.1	N-79°-E	60	一巡	8 D	不明	東壁北側	不明	9 c 後半～10 c 前半
368 B	455>368 B>457 368 A>368 B>368 C	(4.0)×5.8 長方形	24	N-85°-E	50	-	6 A	E-0°-E	東壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半
	カマド C	-	-	-	-	-	-	不明	東壁西側	不明	9 c 後半～10 c 前半
369	369>473-495	5.2×5.6 方形	26.5	N-32°-W	80	部分	6 A	S-26°-E	南壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半 カマド左側に埋設土器(礫・砂底)
370	302散>471>370	6.2×(6.5) 方形	38.5	N-22°-W	60	ほぼ一巡	6 A	S-22°-E	南壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半 床面に段差
371		3.8×3.6 方形	10.3	N-81°-E	60	-	3 A	E-2°-S	東壁南側	A 2	10 c 前半から中葉 支脚・礫(ヘラナデ)
372	372>373-376	5.6×5.7 方形	31.3	N-78°-E	55	ほぼ一巡	不明	E-20°-N	東壁北側	C	10 c 前半から中葉
373	372>373>374	4.4×5.0 長方形	20.5	N-11°-W	40	ほぼ一巡	2 A	S-11°-E	南壁北側	D	9 c 中葉～後半 支脚・礫(糸切り)礫(ナデツケ)
374	373>374>375	不明	-	N-81°-E	40	-	0 A	W-9°-S	西壁北側	D	10 c 前半～中葉
375	374>375	2.7×3.3 長方形	7.6	N-14°-W	45	ほぼ一巡	1 A	S-20°-E	南壁西側	A 1	9 c 中葉～後半 焼失家屋
376	372>376	4.0×4.3 方形	15	N-16°-W	50	ほぼ一巡	9 A	S-16°-E	南壁西側	C	9 c 前半～後半
377	377<701	6.6×5.8 長方形	35.6	N-16°-W	50	ほぼ一巡	22 C	S-12°-E	南壁西側	D	10 c 前半
378	396>378>399	不明	-	N-23°-W	40	ほぼ一巡	7 A	不明	-	-	不明
379	400>379	不明	-	-	30	-	0 A	不明	焼成粘土板	-	不明
380 A	380 A>380 B	3.8×4.1 方形	14	N-32°-W	35	部分	6 A	S-32°-E	南壁西側	C	10 c 前半～後半
380 B	380 A>380 B	3.1×3.1 方形	9.5	N-32°-W	-	一巡	2 A	S-41°-E	南壁西側	-	10 c 前半～中葉
381		3.8×4.1 方形	12.9	N-77°-E	65	-	6 A	E-13°-N	東壁南側	D	10 c 前半～中葉
382 A	348 H>382 H	5.1×6.0 長方形	27.7	N-11°-E	60	ほぼ一巡	5 A	S-13°-W	南壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半
382 B	(4.1)×4.6 長方形	(4.1)×4.6 長方形	19.3	N-11°-E	-	ほぼ一巡	8 A	S-12°-W	南壁西側	A 1	9 c 中葉～後半
383	382 A>382 B	4.7×5.1 方形	23.2	N-24°-W	60	一巡	11 C	S-25°-E	南壁西側	C	10 c 前半～中葉
384	384>382・392	6.7×5.2 長方形	32.2	N-35°-W	65	一巡	20 A	S-35°-E	南壁西側	-	10 c 前半～中葉 2軒の可能性
385		5.1×4.6 方形	21.7	N-3°-W	40	一巡	4 D	S-5°-E	南壁西側	C	10 c 前半～中葉
386		7.5×7.6 方形	54.5	N-17°-W	60	部分	34 D	S-15°-E	南壁中央	C	9 c 前半～後半
	カマド B	-	-	-	-	-	-	S-17°-E	南壁西側	C	9 c 前半～後半
387	欠番										
388		4.0×4.4 方形	16.3	N-33°-W	45	ほぼ一巡	10 A	S-33°-E	南壁西側	C	9 c 後半～10 c 前半
389		3.5×3.6 方形	10.5	N-20°-W	55	-	3 A	S-13°-E	南壁西側	D	9 c 後半～10 c 前半
390		5.1×5.3 方形	25.3	N-79°-E	50	一巡	11 A	E-13°-N	東壁南側	C	9 c 後半～10 c 前半
391		3.2×3.5 方形	10	N-10°-W	50	-	7 A	S-14°-E	南壁西側	-	9 c 後半～10 c 前半
	カマド B	-	-	-	-	-	-	E-20°-N	東壁西側	A	9 c 後半～10 c 前半
392	384>392	3.9×3.8 方形	14.1	N-38°-W	45	-	6 A	S-45°-E	南壁西側	C	10 c 前半
393		2.6×2.8 方形	6.1	N-40°-W	50	-	3 A	N-27°-W	北壁東側	D	10 c 前半
394	不明	不明	-	N-37°-W	65	部分	3 A	不明	-	-	9 c 後半～10 c 前半
395 A	395 A>395 B	不明	-	N-23°-W	55	-	0 A	不明	-	-	10 c 前半～中葉
395 B	395 A>395 B	不明	-	N-13°-W	75	ほぼ一巡	5 D?	不明	-	-	9 c 後半～10 c 前半

住居跡観察表 2

住居番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pt (柱穴配置)	カ マ		ト	降下火山灰	備 考
								位	置			
396A	396 > 378	6.0×6.2 方形	36.9	N-71°-E	45	部分	11 A	E-18°-N	東壁南側	-		10c前半 張出部(南壁東壁1.6×1.3) 支脚・腰(ナデツケ)
396B	396A > 396B	5.1×5.6 方形	29.5	N-71°-E	-	部分	9 A	E-17°-N	東壁北側	-		9c後半-10c前半
397	欠番(424土坑)											
398A	398 > 475	7.2×6.8 方形	42.5	N-23°-W	40	ほぼ一巡	20 A	S-13°-E	南壁西側	-		10c前半
398B	398A > 398B	6.4×6.4 方形	38.2	N-23°-W	-	ほぼ一巡	13 A	不明	南壁東側	-		9c後半-10c前半
399	378-396 > 399 > 400	不明	-	N-11°-W	30	-	0 A	不明	-	-		不明
400	399 > 400 > 379	不明	-	N-11°-W	55	ほぼ一巡?	0 A	不明	-	-		不明
401	326 > 401	2.5×2.6 方形	5.9	N-28°-W	15	-	0 A	S-25°-E	南壁西側	-		9c中葉 支脚(鉢と腰) 砂底(ナデ)
402	欠番											
403		3.9×(4.1) 方形	14.9	N-18°-W	35	一巡	2 A	S-17°-E	南壁西側	礎		9c中葉-後半 支脚(坏)
404	407 > 404 405とは不明	不明	-	N-28°-W	40	-	0 A	S-30°-E	南壁東側	-		9c中葉-後半
405	407 > 405 404とは不明	不明	-	N-18°-W	45	-	0 A	不明	-	-		9c中葉-後半
406		5.2×5.0 方形	23.7	N-35°-W	55	一巡	4 D	S-35°-E	南壁西側	羽口(3)		10c前半 支脚・羽口
407	407 > 404-405 竪穴遺構	7.5×1.6 長方形	11.7	N-0°-S	30	-	20 C?	-	-	-		不明 南側に出入口?
408		2.1×2.1 方形	3.5	N-30°-E	30	-	2 A	S-30°-W	南壁西側	羽口・礎各2		9c前半-中葉
409		不明	-	N-20°-W	75	ほぼ一巡?	13 A	S-20°-E	南壁西側	羽口・礎各2		9c中葉-後半 支脚・坏
410		6.2×(6.7) 方形	40.5	N-18°-W	80	ほぼ一巡?	9 D	S-18°-E	南壁西側	羽口・礎各2		9c後半 支脚・礎・腰(笹葉痕)・礎
411		3.0×3.2 方形	8.5	N-4°-W		-	0 A	S-4°-E	南壁西側	羽口(3)		9c後半
412	欠番											
413	413 > 416	3.8×3.7 方形	13.5	N-17°-W	60	一巡	2 A	S-17°-E	南壁西側	-		9c後半 支脚・羽口
414	欠番											
415		不明	-	-	25	部分	11 A	不明	-	-		10c前半
416	413 > 416	不明	-	-	65	ほぼ一巡?	10 D	不明	-	-		9c中葉-後半 2軒(拡張?)
417		3.8×4.5 長方形	16.7	N-15°-W	55	ほぼ一巡	3 A	S-20°-E	南壁西側	羽口(1)		9c後半
418	334H > 323H-333H > 418H	不明	-	-	30	-	-	不明	-	-		9c前半
419		3.7×4.3 長方形	15.3	N-21°-W	90	一巡	3 A	S-21°-E	南壁西側	羽口(3)		9c後半 支脚・羽口
420A	420A > 420B	2.0×2.1 方形	3.4	N-25°-W	60	-	0 A	w-30°-N	北西隅	A 1		9c後半-10c前半
420B		不明	-	N-24°-W	35	-	1 A	不明	-	-		9c後半-10c前半
421		2.5×3.0 長方形	5.7	N-23°-W	45	-	4 A	S-23°-E	南壁西側	-		9c中葉-後半
422	422 < 423	不明	-	N-22°-W	15	部分	0 A	不明	-	-		9c後半 鍛冶遺構
423A	422 < 423	4.8×4.9 方形	23.2	N-17°-W	50	ほぼ一巡	7 D	S-10°-E	南壁西側	羽口?		10c初頭
423B	423A > 423B > 423C	4.8×4.9 方形	23.2	N-17°-W	50	-	25 D	S-10°-E	南壁西側	-		9c後半-10c初頭
	力マドC	-	-	-	-	-	-	S-12°-E	南壁東側	-		9c後半
424	347 > 424	4.4×4.2 方形	18.3	N-24°-W	-	-	0 A	S-23°-W	南壁西側	-		9c後半
451	451 > 452	4.2×4.3 方形	16.9	N-18°-W	40	部分	9 A	S-20°-E	南壁西側	-		10c前半
452	451 > 452 > 482	4.4×4.7 方形	19.8	N-82°-E	65	ほぼ一巡?	8 A	E-9°-N	東壁北側	-		9c後半-10c前半 支脚・礎
453	453 > 454	2.7×2.5 方形	6	N-22°-W	50	ほぼ一巡	9 C	S-22°-E	南壁西側	-		9c後半
454	453 > 454 竪穴遺構	3.0×2.4 長方形	6.5	N-10°-W	50	-	1 A	-	-	-		9c後半以前
455A	455B > 455A < 367	4.6×4.7 方形	21.2	N-17°-W	40	ほぼ一巡	6-D	S-10°-E	南壁中央	-		9c後半-10c前半
455B	力マドB	-	-	-	-	-	-	S-13°-E	南壁西側	-		"
456	456 < 367-368-459	不明	-	-	45	-	-	不明	-	-		10c前半
457	368 > 457	不明	-	-	35	-	-	不明	-	-		10c前半
458	欠番											
459	459 < 367	不明	-	-	40	-	-	不明	南壁	礎		9c後半-10c前半
460	460 > 461	4.8×5.5 長方形	23.3	N-74°-E	50	ほぼ一巡	6-A	E-0°-W	東壁南側	-		9c後半-10c前半 支脚・腰(砂底)
461	460 > 461	(5.1) × (5.1) 方形	22.9	N-21°-W	55	ほぼ一巡?	3-D?	S-22°-E	南壁西側	-		9c後半-10c前半
462	462 > 463	4.7×4.9 方形	24.5	N-73°-E	35	ほぼ一巡	5-A	E-17°-N	東壁北側	礎		9c後半-10c前半 張出部(北壁1.6×1.6)
463	462 > 463	不明	-	-	-	-	-	-	-	-		9c後半-10c前半以前
464-470	欠番											
471A	2 畝 > 471 > 370	7.2×7.3 方形	48.8	N-69°-E	70	部分	0 A	E-21°-N	東壁北側	礎?		9c後半-10c前半
471B	471A > 471B	6.7×5.6 長方形	39.1	N-70°-E	-	部分	9-A	N-15°-N	東壁南側	-		9c後半
472	欠番											
473	369 > 473 > 495	5.4×5.3 方形	27.4	N-17°-W	100	部分	9-A	S-17°-E	南壁西側	羽口(2)・礎		9c後半 支脚・礎・腰(砂底1、笹葉痕1)
474	欠番											
475	398 > 475	不明	-	-	50	部分	3-A	不明	-	-		不明

住居跡観察表 3

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pH (柱六配置)	力マ		降下火山灰	備考
								位	置		
476	477 > 476 > 478	6.2×6.2 方形	37.5	N-83°-W	55	ほぼ一巡	8-D?	E-10°-S	東壁北側	B-Tm (1・3・4・6・8・9/10)	9 c 後半～10 c 前半
477	477 > 476	不明	-	N-32°-W	60	ほぼ一巡?	4-A	S-32°-E	南壁西側	-	10 c 前半～中葉 煙道部に羽口
478	476 > 478	3.7×3.9 方形	13	N-73°-W	30	ほぼ一巡	2-A	E-15°-S	東壁南側	To-a (1・5・7/8)	9 c 中葉～後半 ロクロビット (Plt2)
479	479 > 485	(3.1)×3.3 方形	8.4	N-52°-E	60	-	0-A	E-30°-N	東壁南側	-	9 c 後半～10 c 前半
480	480 > 490	3.8×4.0 方形	13.8	N-90°-E	70	-	3-A	E-10°-N	東壁北側	-	9 c 後半～10 c 前半 排水溝
481	487 < 481 < 493	不明	-	-	20	-	4-A	不明	-	-	10 c 初頭
482	482 < 452・492・494	(3.1)×3.0 方形	8.2	N-36°-W	20	部分	4-A	S-38°-E	南壁西側	B-Tm (1/4) To-a (2/4)	9 c 中葉～後半 支脚・腰 (笹葉痕)
483	484 > 486	不明	-	-	35	ほぼ一巡	3-A	不明	-	-	9 c 中葉～後半
484 A	484 > 486	5.7×5.9 方形	31.5	N-49°-W	50	ほぼ一巡	7-A	E-42°-S	東壁南側	-	9 c 後半～10 c 前半 煙道部に羽口
485	485 > 479	3.8×3.5 方形	11.1	N-65°-W	70	部分	6-C	E-43°-S	東壁北側	-	9 c 後半～10 c 前半
486	484 > 486	4.9×5.5 方形	27	N-45°-W	60	一巡	9-D	E-42°-S	東壁南側	To-a (1・3・7・9/14)	10 c 前半 支脚・腰 (回転系切り)
487 A	487 < 481	5.6×5.8 方形	30.5	N-40°-W	80	部分	3-A	S-45°-E	南壁西側	-	9 c 中葉～後半 ロクロビット (Plt7)
カマド B		-	-	-	-	-	-	S-36°-E	南壁西側	-	10 c 前半 カマド脇に出入口
カマド C		-	-	-	-	-	-	S-36°-E	南壁西側	-	10 c 初頭～前半
488		2.6×2.8 方形	6.8	N-18°-W	40	一巡	1-A	S-18°-E	南壁西側	-	10 c 初頭
489		3.2×3.5 方形	10.2	N-2°-W	40	-	3-A	不明	-	-	9 c 中葉～後半
490	490 < 480	(4.2)×4.3 方形	16.1	N-1°-E	60	ほぼ一巡	2-A	S-0°-N	南壁西側	-	10 c 前半
491		6.7×(6.7) 方形	45.1	N-8°-W	80	部分	7-A	S-8°-E	南壁西側	-	9 c 後半
492	482 < 492	3.7×4.0 方形	12.1	N-29°-W	40	部分	1-A	S-24°-E	南壁西側	-	10 c 前半
493	竪穴遺構	3.0×2.3 長方形	5	N-40°-W	55	-	3-A	-	-	-	9 c 後半～10 c 前半
494	482 < 494	3.1×(3.2) 方形	8.5	N-0°-S	20	-	1-A	不明	-	-	不明
495	495 < 369・473	3.2×3.4 方形	10.2	N-31°-W	20	部分	3-A	S-30°-E	南壁西側	-	不明
496		2.9×3.4 長方形	8.6	N-3°-E	40	-	1-A	N-3°-E	北壁西側	-	9 c 前半～中葉
497		2.5×2.3 方形	4.5	N-70°-W	50	-	1-A	E-20°-N	東壁北側	-	不明
498・499	欠番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明
500		不明	-	-	45	-	-	不明	-	-	10 c 前後
501		3.2×3.8 長方形	11.7	N-31°-W	30	一巡	2-A	S-25°-E	南壁西側	B-Tm (1/8)	10 c 初頭
502	512 < 502	不明	-	N-19°-W	50	ほぼ一巡?	18-A	S-30°-E	南壁西側	-	10 c 前半
503		3.0×2.6 長方形	6.8	N-84°-E	30	-	2-A	E-11°-N	東壁中央	B-Tm (1～3/3)	10 c 初頭
504 A	504 < 505	5.0×6.1 長方形	29.2	N-7°-W	20	一巡	5-B	S-2°-E	南壁北側	To-a (1・5/6)	10 c 初頭 支脚・腰・環
504 B	504 A > 504 B	4.2×4.8 長方形	18.5	N-7°-W	30	-	7-A	S-7°-E	南壁西側	-	9 c 後半 支脚・環
505 A	504 < 505	5.6×5.8 方形	31.1	N-10°-W	45	一巡	7-D	S-12°-E	南壁西側	B-Tm (1・2/6)	10 c 初頭
505 B	505 A > 505 B	4.1×4.1 方形	15.9	N-10°-W	45	一巡	1-A	不明	-	-	内周溝のみ検出
506	515 < 506	4.6×5.1 方形	22.8	N-12°-W	35	一巡	9-A	S-0°-N	南壁南側	B-Tm (1/10)	10 c 初頭
カマド B		-	-	-	-	-	2-A	S-11°-E	南壁西側	-	-
507 A	507 > 527	7.0×7.9 長方形	53	N-89°-W	55	一巡	15-D	E-5°-N	東壁南側	B-Tm (7/8)	10 c 初頭 支脚・環
507 B	507 A > 507 B > 507 C	6.1×6.3 方形	37.7	N-89°-W	-	一巡	17-A	不明	-	-	10 c 初頭
507 C	507 A > 507 B > 507 C	4.9×5.0 方形	24.5	N-89°-W	-	一巡	15-B	E-5°-N	東壁南側	-	9 c 後半 張出部 (南壁0.7×2.4)
508		4.1×4.2 方形	15.7	N-34°-W	55	一巡	9-A	S-34°-E	南壁西側	B-Tm (2/8)	10 c 初頭
509	509 > 510・511・526	5.1×5.6 方形	28	N-88°-E	65	一巡	3-A	E-6°-S	東壁北側	B-Tm (4/5)	10 c 初頭 多量の炭化種子・中央部に段差
510	509 > 510	2.5×2.6 方形	5.9	N-7°-W	20	ほぼ一巡	2-A	不明	-	-	9 c 後半
511	509 > 511	不明	-	N-15°-W	35	-	1-A	不明	-	-	9 c 後半
512	502 > 512	5.8×6.4 方形	-	N-88°-E	35	-	1-A	E-4°-N	東壁北側	-	10 c 初頭
513		不明	-	N-13°-W	55	部分	2-A	不明	-	-	9 c 後半 一段段差
514	欠番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
515	506 > 515	不明	-	N-16°-E	35	部分	2-A	N-18°-W	北壁西側	-	9 c 後半
516	502 > 516	1.9×2.7 長方形	4.4	N-24°-W	30	部分	2-	S-30°-E	南壁南側	-	10 c 初頭 支脚・環
517 A	517 A > 517 B > 517 C	5.5×5.0 方形	30.7	N-18°-W	50	部分	9-E	S-25°-E	南壁西側	To-a (4・5/8) B-Tm (2/8)	9 c 後半
517 B	517 A > 517 B > 517 C	不明	-	-	-	部分	12-D	S-25°-E	南壁西側	-	9 c 後半～10 c 初頭
517 C	517 A > 517 B > 517 C	不明	-	-	-	部分	12-D	S-16°-E	南壁西側	-	10 c 初頭
518	501 < 520	不明	-	N-22°-W	45	-	1-A	不明	-	-	9 c 後半
519 A	501 跡 > 519	5.2×5.7 方形	28.8	N-24°-W	45	ほぼ一巡	18-D	S-19°-E	南壁西側	-	10 c 初頭 支脚・環
519 B	519 A > 519 B	不明	-	-	-	ほぼ一巡	11-A	不明	-	-	9 c 後半～10 c 初頭 内周溝のみ
520	520 > 518・535	5.3×4.2 長方形	21.4	N-2°-W	65	ほぼ一巡	21-C	S-3°-E	南壁西側	B-Tm (2・4/11)	10 c 初頭

住居跡観察表 4

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pt (柱六配置)	カ マ		降下火山灰	備 考
								位	芯 材		
521		2.2×2.2 方形	4.1	N-24°-W	30	-	2-A	S-16°-E 南壁中央	B	To-a(1/2)	9 c 後半 カマドのソデは、地山を掘り込む
522		2.6×3.1 長方形	7.7	N-68°-W	45	ほぼ一巡	10-A	E-37°-S 東壁南側	B	To-a(1-3/10) B-Tm(5-9/10)	10 c 初頭
523		2.5×3.1 長方形	6.8	N-74°-E	35	一巡	0-A	W-23°-S 西壁北側	D		9 c 後半
524		2.5×3.2 長方形	7.6	N-9°-W	30	-	6-A	S-19°-E 南壁東側	D		10 c 初頭 支脚・礎
525	欠番										
526	509>526	不明	-	N-12°-W	20	部分	0-A	S-19°-E 南壁西側	-	C	9 c 後半
527	507>527	不明	-	N-27°-W	15	-	0-A	S-21°-E 南壁西側	羽口(2)	A	9 c 後半
528	欠番										
529		2.1×2.1 方形	3.1	N-33°-E	40	-	0-A	N-32°-E 北壁中央	-	A 1	9 c 後半 支脚・坏
530	530>532B	3.8×4.3 長方形	15.5	N-11°-W	80	部分	7-A	S-19°-E 南壁西側	-	D	10 c 初頭
531		3.1×4.1 長方形	11.8	N-27°-W	60	ほぼ一巡	3-A	S-27°-E 南壁西側	-	B	10 c 初頭
532A	532B<532A 竪穴遺構?	1.7×2.5 長方形	3.6	N-14°-E	45	-	3-A	-	-	-	10 c 初頭
532B	530>532B<532A	不明	-	N-8°-W	30	-	1-A	不明	-	-	9 c 後半
533	533>534	7.4×7.3 方形	53.5	N-85°-E	50	一巡	26-E	不明 東壁南側	-	不明	10 c 初頭
534	533>534	3.8×3.7 方形	13	N-24°-W	50	ほぼ一巡	2-A	S-21°-E 南壁西側	羽口(3)	A 1	9 c 後半 支脚・礎の上に坏
535	520>535	不明	-	N-31°-W	35	-	0-A	不明	-	-	9 c 後半
536		2.8×3.1 長方形	8.1	N-23°-W	30	-	3-A	不明	-	-	9 c 後半
537-600	欠番										
601		6.6×6.7 方形	42.7	N-4°-W	50	ほぼ一巡	9-D	S-9°-E 南壁西側	礎	C	9 c 後半
602	カマドB	(3.5)×3.6 方形	-	-	-	-	-	S-0°-S 南壁東側	-	不明	9 c 後半
603		3.7×3.6 方形	10.7	N-8°-W	40	-	8-C	E-11°-S 東壁南側	-	C	10 c 前半
604		4.7×4.7 方形	10.9	N-1°-W	60	-	10-A	S-6°-E 南壁東側	-	A 1	9 c 中葉-後半
605		4.7×4.9 方形	21.1	N-77°-E	45	ほぼ一巡	8-A	E-14°-N 東壁北側	-	A 1	10 c 前半
606	606>607	4.6×4.8 方形	22.5	N-72°-E	75	ほぼ一巡	8-A	E-32°-N 東壁南側	礎	C	10 c 前半
607	606>607	4.6×4.8 方形	21.6	N-78°-E	55	ほぼ一巡	6-A	E-9°-N 東壁北側	-	A 1	9 c 後半
608	608>613	6.5×6.5 方形	40.8	N-7°-W	20	一巡	8-A	S-6°-N 南壁東側	-	C	9 c 後半
609	609>610・612	4.5×4.4 方形	16.6	N-5°-W	90	ほぼ一巡	11-A	S-2°-E 南壁西側	-	C	9 c 後半
カマドB		5.6×5.9 方形	30	N-10°-W	60	-	3-A	E-6°-N 東壁北側	-	D	10 c 前半 支脚・礎
610	609>610	3.1×3.5 長方形	9.2	N-13°-W	40	部分	2-C	E-12°-N 東壁南側	-	C	10 c 前半
611		4.8×5.2 方形	23.5	N-17°-W	70	部分	9-A	S-12°-E 南壁西側	礎	A 1	9 c 中葉-後半 支脚・梯形鉄滓
612	609>612	不明	-	-	35	-	2-A	S-29°-E 南壁西側	-	D	9 c 後半
613	608>613	不明	-	N-3°-E	-	-	2-A	不明	-	-	9 c 後半
カマドB		-	-	-	-	-	-	S-4°-E 南壁東側	-	C	9 c 中葉-後半
614		2.6×2.8 方形	6	N-17°-W	50	-	0-A	S-5°-E 南壁東側	-	A	9 c 中葉-後半
615		(3.6)×3.7 方形	13.5	N-19°-W	40	部分	14-C	S-19°-E 南壁東側	-	A 1	10 c 初頭 支脚・礎
616		不明	-	N-45°-W	40	部分	2-A	S-16°-E 南壁東側	-	C	9 c 後半
617		2.3×2.4 方形	4.3	N-54°-W	10	-	0-A	不明	-	-	10 c 初頭
618		4.9×4.9 方形	23.2	N-86°-E	55	-	5-A	S-47°-E 南壁西側	-	A	10 c 初頭 支脚・梯形鉄滓
619-623	欠番							E-7°-N 東壁北側	-	C?	10 c 前半 木の皮状の炭化物(敷物?)
624		5.8×6.0 方形	33.2	N-14°-W	50	-	35-F	S-15°-W 南壁西側	-	D	10 c 初頭
625	欠番										
626		2.9×3.3 長方形	8.5	N-0°-S	55	-	5-C	N-1°-E 北壁西側	-	D	10 c 前半 支脚・礎(笹葉痕)
627-700	欠番										
701	701>377	5.5×5.2 方形	28.6	N-20°-W	40	一巡	22-C	S-16°-E 南壁西側	礎・羽口?	C	10 c 中葉 支脚・礎? カマド東側に段差
702	703>702>704	9.8×9.5 方形	90.3	N-10°-W	45	ほぼ一巡	7-D	不明 南壁?	-	-	10 c 前半 口クロビット(Pl2)
703	703>702>704	5.5×4.8 長方形	25.9	N-2°-W	55	-	6-A	S-4°-E 南壁西側	-	D	10 c 中葉
704A	703>702>704	(9.6)×8.8 長方形	83.2	N-3°-E	50	ほぼ一巡	10-D	E-0°-E 東壁北壁	礎	D	10 c 初頭
704B	704A>704B	(6.5)×(6.7) 方形	43.3	N-3°-E	-	-	9-D	不明	-	-	9 c 後半
705		(4.9)×5.2 方形	24.1	N-32°-W	75	部分	9-D	S-39°-E 南壁西側	-	D	10 c 初頭 To-a(3.4/8)
706	カマドB	不明	-	N-13°-W	30	-	2-A	S-11°-W 南壁東側?	羽口	A 1	10 c 初頭 支脚・羽口
		-	-	-	-	-	-	S-12°-W 南壁東側	-	A 1	9 c 後半
707		5.0×4.7 方形	23.6	N-5°-E	60	ほぼ一巡	4-D	S-3°-W 南壁西側	-	D	10 c 初頭 排水溝
708	竪穴遺構	2.5×2.4 方形	5.3	N-2°-E	20	-	3-A	-	-	-	10 c 初頭 竪穴遺構

住居跡観察表 5

住居跡観察表 6

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pt (柱六配置)	力マ		ト	降下火山灰	備	考	
								位置	芯材					
709		4.5×4.8 方形	19.8	N-2°-W	60	ほぼ一巡	4-D	S-3°-W	南壁西側	礎	B-Tm(4/7)	10c 初頭		
710		4.2×4.2 方形	16.1	N-10°-W	60	部分	3-A	S-10°-W	南壁東側	-	B-Tm(1/7)	10c 初頭		
711		不明	-	N-19°-W	5	-	2-A	不明	北壁	-	-	9c 後半～10c 前半		
712		2.8×2.9 方形	7.6	N-50°-W	25	-	2-A	S-48°-E	南壁西側	-	A1	10c 初頭		
713		4.0×4.3 方形	15.7	N-25°-W	30	部分	3-A	S-31°-E	南壁西側	-	A?	9c 後半 排水溝 支脚・礎		
714	カマド B	4.2×4.8 長方形	18.7	N-36°-W	55	ほぼ一巡	4-A	S-34°-E	南壁東側	-	D	10c 初頭		
715	カマド B	2.5×2.3 方形	4.9	N-65°-E	15	-	-	S-32°-E	南壁西側	-	D	10c 初頭以前(9c 後半?)		
716		4.9×4.8 方形	20.5	N-45°-W	50	ほぼ一巡	4-A	N-35°-E	北壁中央	羽口	B-Tm(1/1)	10c 初頭		
717		2.9×2.8 方形	7	N-42°-W	50	-	3-A	S-45°-E	南壁西側	礎	To-a(3.4.5.10/10)	9c 後半 支脚・羽口		
718		4.0×4.2 方形	15.4	N-21°-W	50	ほぼ一巡	3-A	S-45°-E	南壁中央	-	B?	9c 後半		
719	719>720	3.3×3.8 長方形	10.4	N-10°-W	65	部分	3-A	S-15°-E	南壁西側	羽口	C	B-Tm(1/7)	10c 初頭	
720	719>720	3.3×3.6 方形	10.7	N-32°-W	30	ほぼ一巡	1-A	S-16°-E	南壁東側	-	C	B-Tm(1/5)	10c 初頭 支脚・羽口	
721		5.6×6.0 方形	32.4	N-22°-W	50	部分	26-F	S-30°-E	南壁西側	羽口	C	B-Tm(1/5)	9c 後半	
722		2.6×2.2 長方形	5.4	N-37°-W	50	-	0-A	S-25°-W	南西隅	-	A1	10c 初頭		
723	723>724	3.2×3.2 方形	9.3	N-18°-W	35	ほぼ一巡	1-A	不明	南壁東側	-	-	9c 後半		
724	723>724	3.7×3.8 長方形	17.4	N-18°-W	30	ほぼ一巡	1-A	S-18°-E	南壁西側	-	B	To-a(1/2)	9c 後半 支脚・礎	
725		2.6×2.6 方形	5.9	N-3°-E	45	ほぼ一巡	0-A	S-2°-W	南壁西側	-	D	B-Tm(1.2/7)	10c 初頭 支脚・礎 (ナデツケ)	
726		不明	-	N-44°-W	40	-	1-A	S-43°-E	南壁西側	-	D	9c 後半		
727	727>713・715・717・718	3.1×2.8 長方形	9.4	N-34°-W	40	-	1-A	不明	南壁中央	-	-	10c 初頭		
728A	728A>728B	不明	-	N-7°-W	90	ほぼ一巡	11-D	S-15°-E	南壁西側	礎・羽口	C	B-Tm(2/8)	11c 初頭 支脚・礎 (笹葉痕)	
728B	728A>728B	5.2×5.1 方形	26.1	N-9°-W	-	ほぼ一巡	6-D	不明	-	-	-	9c 後半		
729A	729A>729B	不明	-	N-14°-W	90	ほぼ一巡	9-D	S-9°-E	南壁西側	羽口	D	B-Tm(2/10)	10c 初頭	
729B	729A>729B	2.0×2.1 方形	3.8	N-73°-E	20	-	3-A	W-20°-S	西壁中央	-	A?	9c 後半		
730	730<731	不明	-	N-41°-E	55	部分	1-A	不明	-	-	-	9c 後半		
731	731>730	不明	-	N-63°-E	50	-	1-A	E-19°-N	東壁南側	-	D	10c 初頭		
732-734	欠番													
735		不明	-	N-8°-W	35	-	2-A	S-8°-E	南壁西側	-	D	10c 前半		
801	801<812	5.0×5.0 方形	25.2	N-4°-W	10	部分	17-C	S-3°-E	南壁西側	-	D	9c 後半～10c 初頭		
802	802>803>805	2.9×3.1 方形	7.1	N-12°-W	35	部分	6-C	E-10°-N	東壁北側	-	D?	10c 中葉 支脚・礎 (ナデツケ)		
803	802>803>805	3.1×3.3 方形	9.1	N-3°-E	40	-	5-C	E-7°-S	東壁北側	-	A1	不明火山灰 (B-Tm 12/4)		
804A	804A>804B	6.2×6.7 方形	40.5	N-27°-W	20	部分	20-F	S-25°-E	南壁西側	礎	C	10c 前半		
804B	804A>804B	不明	-	-	-	部分	11-A	S-25°-E	南壁?	-	A1	(10c 初頭?)		
805	802>803>805	4.7×4.8 方形	20.8	N-13°-W	35	-	4-C	E-12°-S	東壁南側	-	A1	9c 後半～10c 初頭		
806		2.8×2.8 方形	7.2	N-17°-W	25	部分	5-A	S-3°-E	南壁西側	-	C	10c 初頭		
807-808	欠番													
809		2.6×2.6 方形	6.2	N-26°-W	10	ほぼ一巡	3-A	N-28°-W	北壁西側	-	不明	10c 前半		
810-811	欠番													
812A	814>812>801.813	6.8×6.8 方形	43.8	N-9°-W	45	ほぼ一巡	3-D	不明	南壁中央	-	不明	9c 後半		
812B	812A>812B>813	5.7×5.8 方形	33.9	N-10°-W	-	ほぼ一巡	14-D?	不明	東壁南側	-	-	9c 中葉		
813	812A>812B>813	3.1×2.6 長方形	8	N-8°-W	10	部分	2-A	不明	-	-	-	9c 前半		
814	815>814>812	5.2×5.2 方形	25.1	N-30°-W	40	部分	5-D	S-27°-E	南壁西側	羽口・礎	D	To-a(1/4)	9c 後半～10c 初頭	
815A	815>814	7.4×7.7 方形	55.3	N-11°-W	50	ほぼ一巡	14-C	S-16°-E	南壁西側	-	C	10c 初頭		
815B	815A>815B	5.2×6.0 長方形	31.3	N-11°-W	-	ほぼ一巡	11-C	不明	-	-	-	9c 後半		
816	欠番													
817		3.5×4.3 長方形	14.5	N-0°-S	25	部分	16-A	S-0°-N	南壁西側	-	A?	9c 後半 支脚・礎 (木葉痕)		
818-821	欠番													
822		5.2×5.0 方形	23.3	N-32°-W	65	ほぼ一巡	17-A	S-30°-E	南壁西側	羽口	D	To-a(2/6)	9c 後半 支脚・口クロ広口鉢 (回転系切り)	
823	363>823	不明	-	-	35	部分	2-A	不明	-	-	-	9c 後半		
824	欠番													
825A	825A>825B	5.2×5.0 方形	23.5	N-32°-W	20	一巡	3-A	不明	-	-	-	10c 初頭		
825B	825A>825B	3.8×(4.0) 方形?	16.4	N-40°-W	-	部分	1-A	不明	南壁東側	-	不明	9c 後半		
826		4.1×5.2 長方形	20.7	N-13°-W	65	一巡	4-A	E-15°-N	東壁南側	-	不明	不明火山灰(1/9)	9c 後半～10c 初頭	

住居 番号	重複関係	規模・平面形	床面積 (㎡)	主軸方位	深さ (cm)	壁溝	pt (柱六配置)	力 マ		降下火山灰	備 考
								位	芯 材		
827-829 欠番											
830		3.7×4.2 長方形	13.2	N-22°-W	80	部分	6-A	S-20°-E	-		
831A	831A>831B>831C	5.0×5.1 方形	26.9	N-14°-W	45	一巡	10-C	S-20°-E	礎?	B-Tm(4/5)	10c初頭
831B	831A>831B>831C	4.7×4.7 方形	19.6	N-14°-W	60	一巡	6-C	不明	-		10c前半 張出部(西壁1.5×1.5)
831C	831A>831B>831C	4.0×4.2 方形	16.2	N-13°-W	85	一巡	13-C	S-18°-E	-		10c初頭
832	832A>832B	3.3×3.3 方形	10.5	N-35°-W	60	ほぼ一巡	10-A	S-35°-E	塙・礎	不明火山灰(12/3)	9c後半
	カマドB	-	-	-	-	-	-	S-32°-E	-		9c後半以前
901		2.7×2.8 方形?	5.2	N-10°-W	75	-	2-A	E-11°-N	-	B-Tm(6.16/21)Toa(14.15/21)	9c後半～10c初頭
902	902>913	4.0×4.7 長方形	16.7	N-23°-W	30	-	8-A	S-20°-E	羽口(?)	B-Tm(1/5)	9c後半
903	903>904	不明	-	-	50	部分	12-A	不明	-		9c後半～10c初頭
904	903>904	4.0×5.0 長方形	20	N-3°-E	40	部分	13-C	S-4°-W	-		9c後半～10c初頭
905		4.9×4.7 方形	22	N-35°-W	30	部分	5-A	S-21°-E	-		9c後半
906		3.9×4.3 方形	16.6	N-49°-W	40	ほぼ一巡	4-A	S-44°-E	-	B-Tm(1/16)	9c後半
907		4.1×4.4 方形	17.6	N-31°-W	40	一巡	12-A	S-31°-E	-		9c後半
908		3.2×3.4 方形	9.9	N-38°-W	40	-	3-A	S-42°-E	羽口(2)	A1	9c後半
909		3.4×3.3 方形	10.5	N-42°-W	25	-	2-A	S-37°-E	-		9c後半
910		3.3×3.4 方形	10	N-35°-W	40	-	5-A	S-40°-E	礎	A1	9c後半
911		2.8×3.3 長方形	8.7	N-22°-W	45	部分	3-A	S-16°-E	-	To-a(3.5/11)	9c後半 支脚・羽口
912A	912A>912B	4.2×4.8 長方形	18.2	N-24°-W	35	ほぼ一巡	4-A	S-22°-E	羽口(2)	D	9c後半
912B	912A>912B	3.0×3.0 方形	8.1	N-24°-W	-	部分	0-A	S-22°-E	-	A1	9c中葉～後半
913	913>902	不明	-	-	20	-	2-A	不明	-		10c前半
914		不明	-	N-8°-W	30	-	4-A	S-5°-E	-	A1	9c後半
915	915>916	不明	-	-	60	-	3-A	E-4°-S	-	A1	10c前半
916	915>916	不明	-	-	-	部分	5-A	不明	-		10c前半
917		3.1×3.2 方形	9.3	N-1°-W	55	一巡	3-A	E-4°-S	-		10c前半
918		2.9×3.2 長方形	9.4	N-16°-W	30	ほぼ一巡	3-A	S-16°-E	-		9c後半
919		5.7×5.7 方形	31.3	N-36°-W	40	-	29-F	S-36°-E	-	D	9c後半～10c初頭
920	936・937>920	不明	-	-	20	-	2-A	不明	-		10c初頭
921	欠番										
922	922A>922B	3.5×3.1 長方形	10	N-18°-W	60	-	1-A	S-25°-E	-	B	9c後半
	カマドB	-	-	-	-	-	-	S-16°-E	-	A1	9c中葉
923	923>938	3.8×3.9 方形	12.7	N-26°-W	40	ほぼ一巡	1-A	S-24°-E	-	C	9c後半～10c初頭 支脚・礎
924	925>924>927	5.2×5.3 方形	25.5	N-56°-W	30	部分	1-A	E-40°-S	-	D	10c初頭
925	925>924	3.8×4.4 長方形	14.4	N-3°-E	50	-	1-A	S-2°-E	-	C	10c前半
926	926>927	4.2×4.1 方形	16.1	N-1°-W	40	一巡	2-A	E-2°-N	礎(3)	C	10c前半
	カマドB	-	-	-	-	-	-	S-13°-W	-	C	10c前半
927	924・926>927	5.4×5.7 方形	25.3	N-28°-W	40	ほぼ一巡	1-A	S-26°-E	-	C	9c後半
928		7.4×7.5 方形	55.5	N-20°-W	25	部分	12-C	S-21°-E	-	B	9c後半
929	竪穴遺構	2.8×3.2 長方形	7.9	N-40°-W	30	-	2-A	-	-		9c後半
930		2.6×2.3 長方形	5.2	N-34°-W	30	-	1-A	S-36°-E	-	不明	9c後半
931	931>932	2.3×2.9 長方形	6.1	N-1°-E	60	-	0-A	S-3°-W	-	D	10c初頭
932	931>932	4.7×5.0 方形	19.2	N-37°-W	50	部分	5-A	S-36°-E	羽口	C	9c後半
933		4.5×4.8 方形	18.8	N-10°-W	40	ほぼ一巡	9-A	E-1°-N	-	D	10c前半
934	欠番										
935	935?936	(5.8)×5.6 方形	32.2	N-5°-E	40	部分	5-A	S-5°-E	-	C	10c前半
936	935?936>920	(4.0)×4.0 方形	13.6	N-8°-E	90	-	23-C	不明	-	不明	10c初頭 支脚・環
937	937>920	6.1×6.1 方形	36.5	N-2°-W	45	部分	2-A	E-10°-N	-	不明	10c前半
938	923>938	3.8×3.0 長方形	9.5	N-28°-W	35	-	3-A	S-31°-E	-	C	10c初頭
939	939>940	4.8×4.0 長方形	18.6	N-7°-E	50	ほぼ一巡	12-A	E-9°-S	-	C	10c前半 張出部(西壁1.5×1.2)
940A	941>940>939	5.8×5.4 方形	26.6	N-6°-W	70	部分	-	不明	-	-	10c前半
940B	940A>940B	3.8×5.4 長方形	18.8	N-6°-W	40	部分	5-C?	E-6°-S	-	C	10c初頭
941	940>941	不明	-	N-20°-W	20	部分	1-A	E-26°-N	-	不明	9c後半

住居跡観察表 7